相談支援の基本的スキル獲得に向けた教育方法

名古屋市総合リハビリテーション事業団 総合相談部長 なごや高次脳機能障害支援センター参事 小島 一郎

このカリキュラムの流れ

時間	内 容	担 当
16:10~16:25	導入講義 ・初任者研修の流れ ・「相談支援の実際」のポイント	小島
16:30 ~ 17:05	演習(テーマに沿った意見交換)	岡村•演習講師
17:05 ~ 17:10	まとめ	岡村

初任者研修の流れ

講義(2日分)

演習(2日分)

演習(3日分)

- ・「価値」「知識」の理解
- ・サビ管、児発管の 基礎研修と共通内容
- ・「価値」「技術」の習得
- ケアマネPに沿って一通り やってみる(共通事例)

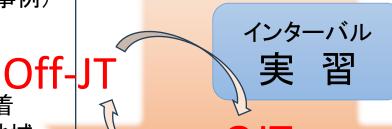
・「価値」「技術」の定着

ケアマネPに沿って地域 の事例でやってみる 個別相談:アセスメント

➡ 本人の意向→意思決定支援

地域づくり:社会(地域)資源理解

協議会理解



- ・基幹C等での助言
- ・社会資源の情報
- ・協議会の理解

継続的な人材育成

「相談支援の実際」(演習1、2日目)に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	/	工夫や課題
1	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開		
2	演習の目的に適したモデル事例の準備		
3	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮		
4	情報収集~ニーズ把握の思考過程		
5	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用		
6	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用		
7	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等 利用計画の作成		
8	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用		
9	模擬サービス担当者会議の体験		
10	モニタリングの理解と記録の作成		
11	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行		

グループワーク (~17:05)

	盛り込むべき内容	工夫や課題
7	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
8	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	

w1 個人ワークにて都道府県の状況を振り返り(5分) w2 グループにて共有および改善策等について意見交換を実施(35分)

ワークシート

	盛り込むべき内容	工夫や課題
7	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成	
8	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用	